

アーカイブス通信

No. 18

新着図書

新着図書の中からおすすめをご紹介します。



進士五十八と22人のランドスケープアーキテクト
進士五十八 著 / マルモ出版 2016年8月発行

東京農業大学学長を歴任し、現在同大学地域環境科学部造園科学科名誉教授、福井県立大学の学長を務める進士五十八先生が人選した22人の造園家・ランドスケープ・アーキテクトの人物像とランドスケープワークが書かれており、彼らの仕事や作品を通し、今日の日本のランドスケープの世界を分かりやすく紹介しています。

定信と庭園－南湖と大名庭園－

白河市歴史民俗資料館 編集 / 財団法人 白河市都市整備公社 2001年9月発行

本図録は南湖公園(福島県白河市)の開園200周年を記念し企画展覧された「定信と庭園－南湖と大名庭園－」展の際に作成され、定信築庭による「浴恩園」、「南湖」、「六園」などの絵図や図巻に加え、茶道具や楽器などの定信の遺品を掲載。沢山の色鮮やかな資料が図録いっぱい広がります。



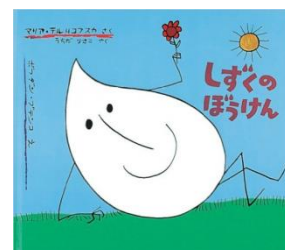
ドリアン－果物の王
塚谷裕一 著 / 中公新書 2006年10月発行

「そろそろ本当のところを言ってもよいのではないかと。ドリアンは臭くないと。」強烈な香り、味があると思われ敬遠されがちな果物“ドリアン”。この本は、ドリアン好きの作者が、美味しい実の選び方や栽培方法、さらにドリアンの魅力を植物学、果物史といった切り口から紹介しています。ドリアンが食べたくなること請け合いの一冊。

しずくのぼうけん

マリア・テルリコフスカ 作 / ボフダン・ブテンコ 絵 / 内田茉莉子 訳 / 福音館書店
1969年8月初版発行

バケツから飛び出した「しずく」の長い長い旅が始まります。裏庭、クリーニング店、家の中。「しずく」は水蒸気や雨粒、氷になってさまざまな場所を冒険します。「しずく」が姿を変えながら旅をするストーリーには、外部からの影響を受けて水の状態が液体・気体・固体へと変化していく性質が描かれています。小さいお子様から大人まで楽しみながら水について学習することができる絵本です。

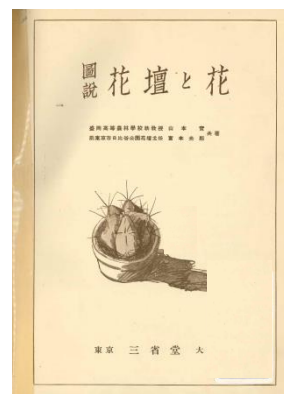


おすすめ資料

所蔵資料の中からおすすめをご紹介します。

今年も10月22日(土)から30日(日)まで第14回日比谷公園ガーデニングショー2016が日比谷公園で開催され、様々な花や緑に関するイベントや講座が予定されています。

今回のお勧め資料は「図説 花壇と花」(昭和11年発行、山本實・富本光朗著)をご紹介します。この図説は東京市役所の日比谷公園花壇主任富本光朗氏が盛岡高等農林学校助教授山本實氏とともに著し、彼の作品が数多く登場しています。本文中には配色平面図や見取り図、写真が多用され、花壇用花卉120種の特徴、栽培方法、そして花壇設計の基礎知識から色彩論、植物生理学、繁殖方法など幅広く記述され、当時の園芸技術や植物、花壇のデザインについて知る事ができます。また、昭和初期の日比谷公園の花壇の写真や、花壇展覧会の作品、オランダより寄贈のチューリップを用いた花壇の平面図などが実例として紹介されています。



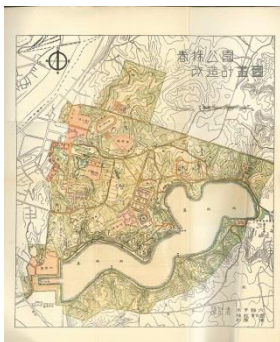
「日比谷公園をつつた偉人 本多静六」

平成28年8月22日(月)～11月25日(金)

本多静六は都市公園から森林公園にいたるまで、全国各地の主要な公園の設計を手掛け、東京においては日本初の近代式洋風公園である日比谷公園(明治36年開園)の設計、さらに明治神宮の森の造成に携わりました。

日比谷公園の設計後、全国各地から公園改良・設計依頼が殺到し、本多静六が手掛けた公園は現在70ヶ所以上も残っています。

みどりの図書館東京グリーンアーカイブスでは40点以上の本多静六博士が残した公園改良・設計案、風景利用策を所蔵し、今回所蔵資料コーナーでは、大濠公園(福岡県福岡市)や、和歌山公園(和歌山県和歌山市)、桜で有名な懐古園のある小諸公園(長野県小諸市)などの公園改良・設計案、風景利用策(16点)を只今、特別公開しています。



春採公園改造計画概要
(北海道釧路市)
釧路市役所/昭和12年7月



展示資料の様子

レファレンス事例

こんなご相談にも乗っています。お気軽におたずね下さい。

Q.卒業論文を書くために図面などのデータを借りたい。

A.当館では、写真や絵葉書、図面をデジタル化し保存管理しています。論文に掲載をご希望の際は、「掲載・許可申請書」に必要事項を記入のうえ、提出していただければ審査後にCD-R等で画像データをお貸し出しいたします。
※撮影・掲載許可申請書はホームページからダウンロードしていただくか、当館カウンターで配布しています。

Q.日比谷公園にサボテンもしくは多肉植物の植えてある場所がありますか。

A.第一花壇にリュウゼツラン科(竜舌蘭)の、「アオノリュウゼツラン」と「キミガヨラン」が植えてあります。リュウゼツラン科の植物は、アメリカ大陸を中心に熱帯、亜熱帯、特に乾燥地に多く生息し、観賞用の植物として利用されています。日比谷公園内にある第一花壇では昭和初期頃から「アオノリュウゼツラン」や「キミガヨラン」などが植栽され、花壇のポイントとして多くの人の目を引きつけました。

紹介図書：川崎吉光『山溪カラー名鑑 観葉植物』(山と溪谷社/1991年)

『都市公園 No.161』(財団法人 東京都公園協会/2003年)



『山溪カラー名鑑 観葉植物』 『都市公園 No.161』

現在の第一花壇の様子(アオノリュウゼツランとキミガヨラン)

1929年の第一花壇の様子



- 開館時間 : 9:00～17:00
- 休館日 : 日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 複写 : 有料
- 資料検索 : インターネットからも検索可能

<http://www.tokyo-park.or.jp/college/archives/>
グリーンアーカイブス 検索

■データ貸出: 図面・写真・絵はがき等の資料の画像データ貸出についての申請方法は図書館職員までお問合せください。

〒100-0012 千代田区日比谷公園1-5緑と水の市民カレッジ2階
TEL03-5532-1347

- ・東京外丸ノ内線, 千代田線, 日比谷線「霞ヶ関」駅下車 徒歩3分
- ・都営地下鉄三田線「内幸町」駅下車 徒歩5分
- ・JR山手線「有楽町」駅下車 徒歩15分